



年 組 名前

道新でワークシート

イスラム戒律の食支援

北星女子高 ハラル料理開発、提供

札幌市中央区の北星学園女子高がイスラム教徒（ムスリム）の食の支援に取り組んでいる。インドやマレーシアからの北大留学生らと対話し、イスラム教の戒律に従った食べ物（ハラル）を手に入れたらいい現状を受け、ハラルに対応したメニューを子ども食堂で提供。コンビニエンスストアと協力しハラル食品の開発も進めている。

同高英語科の黒岩萌実教諭は国際理解を深めようと、親友のある留学生らに教徒の困りごとを動画にまとめてもらった。8月の授業で生徒が鑑賞。戒律で禁じられた豚肉やアルコールを用いない食べ物が入りしづらく、スイーツには豚由来の乳化剤を含む例もあるなど悩みに触れた。翌9月には留学生らが来校し、課題解決に向けて話し合った。

交流を通じて生徒は10月中旬、毎月運営を担う中央区の子ども食堂でハラルメニューを用意した。留学生や家族など20人に、豚肉の代わりにエビを使ったお好

み焼きや乳化剤を使わないチーズケーキを振る舞った。北大助教授のハシムさん(38)は「お好み焼きは豚肉が使われているので避けていた。おいしいし、生徒が考えて作ってくれたことがうれしい」と話した。

同高では、ハラルに対応した食品を手軽に購入できるように、留学生が多く利用する北大周辺のコンビニ向けの商品開発にも挑む。肉まんなどを検討中で、来年3月までの実現を目指す。2年の A さん(16)は「考えたことが、ムスリムの人たちの安心につながってうれしい。宗教や食文化について理解を深めたい」と話す。(芝垣なの香)



ムスリムの人たちにお好み焼きなどを振る舞う北星学園女子高の生徒たち

2023年11月11日(土) 朝刊 札幌市内版 15ページ (記事は再編集しています)

- ① — 「ハラルに対応したメニュー」として紹介されている食べ物を二つ書きなさい。

- ② ~ 「コンビニエンスストアと協力しハラル食品の開発も進めている」とありますが、どこで販売することを想定していますか。